

平成24年度 石桜同窓会活性化検討委員会 報告書

- ◆ 平成23年度、石桜同窓会の現状分析と、更なる活性化を目的に「石桜同窓会活性化検討委員会」を立上げ、合計4回に亘り慎重協議し常任理事会に諮り、平成23年10月21日開催された石桜同窓会総会で承認された。尚、具体的な事項については平成14年度協議することになった。
- ◆ 平成24年度、合計5回検討委員会を開催し協議した。
以下協議内容を報告します。
 - 学年理事、地域・職域理事、クラブOB会対策
 - ・前年に引続きかなり整備したが、引き続き仮称「組織強化委員会」で整備対策する。
 - ・学級の多い学年に於いては、理事1名とし各学級に幹事1名を置く体制にする。
 - 常任理事対策
 - ・回生ごとのバランスを取った増員。
 - 理事会対策
 - ・定例理事会2回開催
 - 1回目 総会開催日前に開催
総会提出の事業・決算報告、事業方針・予算とうについて審議する。
 - 2回目 総会后早い時期に開催
総会で決議された事業計画、活動方針等の具体的な事項について審議する。
出席率の向上対策は引続き往復ハガキで行い、出欠の確認等を行う。
 - 総会対策
 - ・総会への出席率の向上対策
新聞広告(岩手日報)、石桜同窓会ホームページ、学年、地域・職場、クラブOB会各同期会等あらゆる機会に出席要請する。
 - ・総会の催事担当
 - 1廻りしたが引続き順番で担当する。
 - ・平成26年度より総会開催日の変更(8月)と併せて年度変更について検討する。
 - ・平成26年より仮称「成人の集い」と併せて開催。
 - ・会費 一般 5.000円 学生 3.000円 新卒同窓生 無料
 - 財政問題
 - ・一般会計は
新卒業生の入会金、終身会費と同窓生から賛助会費から成り立っている。
課題
 - ①新卒業生は少子化傾向で減少が予測
 - ②同窓会生からの協賛金(平成22年度の場合)は各回生4.2人である。対策
賛助金の協力の要請
石桜同窓会報送付時に趣意書同封(平成23年度より実施)
石桜同窓会報の1ヶ月前倒し発行 極力早い時期に実現するよう検討する。
 - 同窓会活動等の情報発信
 - ・石桜同窓会報の発行
内容の更なる充実
将来カラー化を目的に検討する。
 - ・石桜同窓会ホームページ
なお一層の充実を図る。 情報提供
運営経費についてはバナー広告収入での全額経費負担となっているが、更なる広告の協力を。
 - 新規事業
 - ・本年度より「90周年記念事業」と「同窓会新名簿」発行の準備を開始する。
 - ・同窓生先人顕彰
本年度は、旧15回生の「動物哀歌」の詩人生誕85周年事業に共催し経費の一部負担をする。
 - クラブ活動支援事業
 - ・従来通り支援活動を協力に実施するが、一般会計会計収入と勘案し、なお一層の支援強化を図る。
 - 理事、常任理事等役員の役割分担
 - ・別紙資料2の通り新たに各委員会を新設して、きめ細かな責任体制を確立する。
 - 同窓会の連絡網の整備
 - ・学年理事、地域・職域理事、クラブOB会と連携し連絡網の整備をする。
 - 事務局の整備
 - ・同窓会活動における事務局運営は母校の先生(岩手高校卒業生)方々が事務処理等を行い、同窓会活動の重要な部分を担っている。
 - ・現状の体制が望ましいが、負担をかけ過ぎてはいないのか。
 - ・新設した各委員会等と連携し整備していく。